

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 めばえピオラ		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年3月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年3月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月13日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士免許を持った職員が複数人いるので、年齢に合った支援ができる。	ペープサートや手遊びなど、興味を持つような題材のものが用意できる。	様々な活動を幅広く取り入れていく。 個々の特性に合った活動を考え子供たちが楽しめるように心がける。
2	室内運動場がある事で、思いっきり体を動かして遊べる。	ぶらんこを設置したり、バランスボールを置くなどして、遊びながら体幹を鍛えられるようにしていく。	安全管理の徹底をして、新しい遊具の設置を検討する。
3	マンツーマン対応が出来るので、成長過程の把握や安全面の確保が出来る。	児童の様子は職員間で共有し、職員全員で把握に努める。	保護者にも細やかな伝達を心がけ、写真や製作物を見せて、活動の様子が具体的に分かるようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	バリアフリーの環境が十分ではない。	今の所、安全に過ごせているので早急な改善は求めている。	対象児童の利用が決まり次第、検討していきたい。
2	地域との連携や保護者同士の交流の場が作れていない。	コロナ禍以降、行事の改善が行われていない。	近隣の施設との連携を図り、交流を深めていく。
3	利用児童が少なく、活動に幅が出ない。	児童発達支援専門の事業所が増えてきた為。	相談支援員さんなどと連携を図り、利用児童の獲得を目指す。